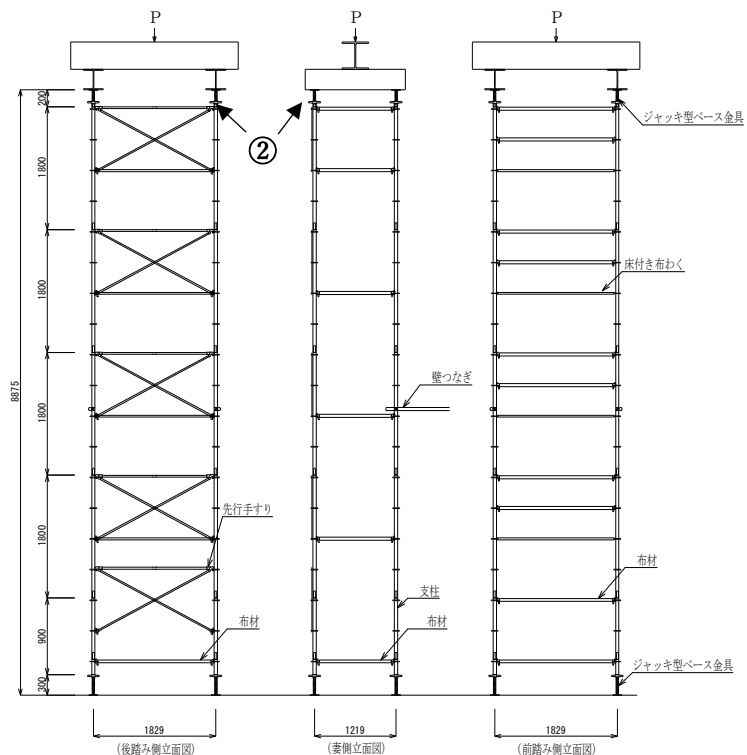


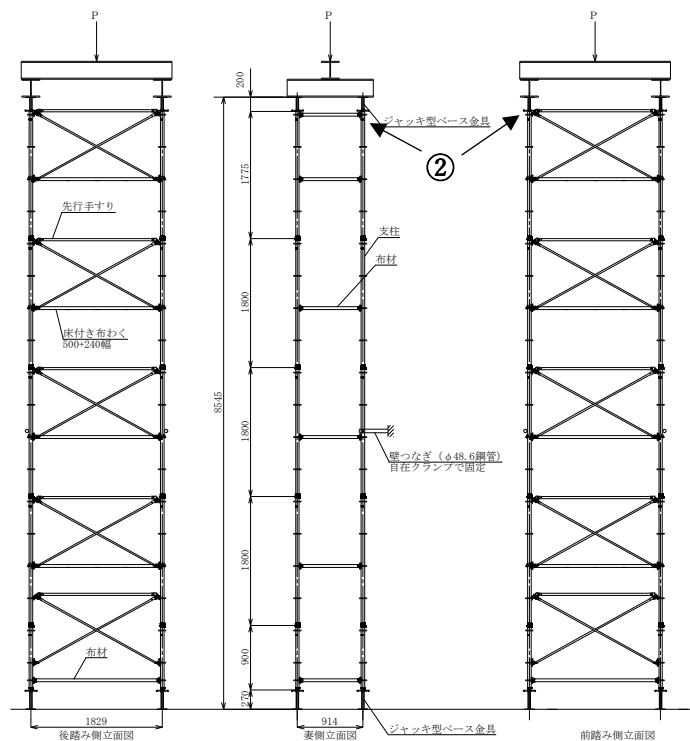
経年品の依頼試験において実大試験を希望する場合

申請される製品（システム）の使用基準等の内容をご確認いただき、承認されている組立方法により試験を申請してください。

片面先行手すり、片面布材による場合の組立方法例



両面先行手すりによる場合の組立方法例



①最下段の支柱は根がらみ支柱がある場合はこれを用い、接続する支柱の長さは、原則として最下層より 900 mm、1800 mm、1800 mm、1800 mm、1800 mm (950 mm、1900 mm、1900 mm、1900 mm、1900 mm) としてください。前記支柱を保有していない場合はご相談ください。

②支柱最上段はジャッキ型ベース金具が入るよう、ホゾ無し支柱（ホゾ無し支柱を保有していない場合は、2700 mmの支柱上端をカットし、1800 mmとしても良い。切断の直角度が強度に影響するので注意してください。）又は支柱上端に使用する上部カラー材等を準備してください。（図②の部分）

不明な点がございましたら、東京試験所までご連絡下さい。（TEL:04-2946-0445）